

市の課題 自然博物館のあり方を考える

自然博物館移転に関わる経過

- 平成30年12月 都市計画課・社会教育課・平出博物館による合同会議
(サウンディング型市場調査結果について)
- 令和元年8月 議員全員協議会 (小坂田公園再整備計画検討)
- 令和2年5月 議員全員協議会 (小坂田公園再整備計画決定)
- 令和3年1月 平出博物館基本構想検討委員会 (新平出博物館は歴史系の博物館とする)
- 令和3年3月 第1回自然博物館研究会 (自然博物館のあり方を考えるための研究会を発足、計5回開催)
- 6月 平出博物館基本構想(案)提言
- 10月 令和4年3月に閉校となる榑川中学校を移転先候補とし担当課が基本計画の策定を進める
- 令和4年1月 新年度予算理事者査定 (榑川中学校への移転について、校舎内の高湿度及び細かな虫の発生や、改修等の事業費の大幅な増加が見込まれるため、博物館への転用は難しいと判断)
- 2月 小坂田公園レストラン棟を移転先候補として検討を始める
- 3月 社会文教常任委員会 (担当課から「自然博物館の今後のあり方」について報告)
- 6月 6月定例会 (一般質問にて自然博物館のあり方について質問)
- 議員全員協議会 (「自然博物館の今後のあり方」について、社会文教常任委員会、総務産業常任委員会の合同で調査研究を行うこととする)

現在、塩尻市では自然博物館の移転が大きな課題となっています。自然博物館は小坂田公園再整備計画によって移転することが、令和元年度に提案されました。その際の議論は、再整備計画の構想をめぐるものであり、当該博物館は適切な移転場所が検討され、改めて提案されるものと議会側は考えていました。

この間、新たに文化財課が置かれ、また市側と市民有志による研究会も5回開催されましたが、移転先は二転三転し、市民、議員の間にも不安の声が聞かれるようになりました。令和5年度には公園が全面運用になるのを控え、自然博物館の移転問題は差し迫ったものとなり、6月議会において複数の議員が質問を行い多くの市民の皆さんに傍聴していただきました。

質疑の中で、自然博物館のあり方や移転先について議会側と行政側の考え方に大きなずれがみられることから、社会文教常任委員会として総務産業常任委員会と合同で調査・研究を行うことを議長に申し入れ、議員全員協議会で了承されました。

今後、議会として行政側と市民との思いのずれを埋め、貴重な標本をいかに市民生活に資するかを慎重に検討してまいります。



提案のあったレストラン棟1階部分



事務所のある2階部分が常設展示、1階が特別展示室、その横に収蔵庫がある